

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第212号



2024年6月28日発行

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail:lycoris06@jcom.home.ne.jp

ホームページ メール

☎090-1837-5347 〒239-0822 横須賀市浦賀6-8-1 田中気付



組合員拡大 三浦市職労

三浦市職員労働組合は組合員数約300人で、ここ数十年90%以上の加入率を維持しております。その大きな理由は、新採用職員の確実な加入です。市当局との信頼関係をベースに、理解と協力を得ながら、組合説明会を継続できています。

説明会では、市役所ライフのサポーターとして日頃から身近な存在として活動していることも、専従書記やろうきんの担当者とともに、丁寧に説明することを心がけています。

また、サークル紹介のコーナーでは、先輩たちが駆けつけてくれて、会場が一気に賑やかで和やかな雰囲気となり、アツイアドバイスも語ってくれます。

このように、三浦市職労では、組合とろうきんと当局と先輩たちと一緒に取り組むことで、高い組織率という「財産」を毎年引き継ぐことができていると実感しています。

地域労組協議会交流会に43人参加！

6/9(日)全神奈川地域労組協議会の交流会が行われ、全体で43人が参加しました。よこさん合同労組からは、田中委員長が軍港めぐり講師として参加したのをはじめ、執行委員が軍港めぐりに1名参加。交流会の準備に、合同労組から2名、横三労連から3名が参加し、総計7名が参加しました。7名中女性が5名だったため、他の地域からは、「横三労連は、女性が多いですね」と、驚きの声が寄せられているそうです。

地域労組の協議会は、神奈川の他は、東京・大阪・埼玉にしか存在せず、首都圏規模での交流も準備が進められています。全神奈

では、11月の定期大会で、交流会開催の方針が提起され、よこさん合同労組から、横須賀の軍港めぐりを紹介しました。その後の交流会で、横須賀での開催を決めたそうです。従来、梅もぎなどの交流会はありましたが、一部の組合が中心で、今回のように、9単組が結集したのは、初めての事です。

軍港めぐりに参加した人からは、「基地のある横須賀の危険性が理解できた」という発言が次々とあり、軍港・軍艦を初めて目の当たりに見て、興奮した様子でした。一方で、トライアングル社の解説に不安を感じる参加者も。

労働学校が始まりました！

6/22(土)、3回シリーズの横須賀三浦地域労働学校が始まりました。学習協と横三労連の共催です。第1回は、「小林多喜二とプロレタリア文学」。講師の長野和範さん(元高校教師)が、膨大な資料を元に詳細な講義を行いました。サポセンに置かれたチラシを見て参加した男性を含め、19名が参加。文学への関心の高さを示していました。特高は、はじめから殺すつもりで小林多喜二を逮捕していた事が浮き彫りになりました。また、多喜二をめぐる女性たちの姿に、共感した参加者も多かったようです。

